

公開型社内研修2期目に

川上初回は武内医師が講師

塗装工業

盛岡市三ツ割の川上塗装工業（川上秀郎社長、社員15人）は20日、2期目となる公開型の社内研修「たのしむユニバーシティ」を開講した。社員の自主性や学ぶ力を伸ばし、会社組織の成長につなげようと2017年度からスタート。今年度もカラーデザイナーや料理家ら多彩な講師を招き、来年2月まで6回の研修会を予定している。一般市民や学生の聴講も歓迎。共に学び、地域を元気にしていきたいという。

川上社長は「たのしむユニバーシティ」に取り組んだことで、社員の研修の場への参加姿勢や自主的な気付きが「少しずつ向上して

いる」と成果を実感。「経営者や幹部が進んで学び、ブラッシュアップしていけば、部下も視野を広げ、成長する。自ら考え、育つ、会社にしていきたい」と意欲を燃やす。

次回の講座は6月9日午後3時から、盛岡市上田公民館で。カラーデザイナーで、アトリカ&コミュニケーション

ヨン代表の鳥屋部陽子さんが講師を務める。参加費500円、定員30人。できれば参加予約を。問い合わせは同社（電話019-601-4014）へ。8回目以降の講座の詳しい内容は特設サイト <https://kawakami.paint.wixsite.com/tanoshimuniversity>。

武内医師は27年間、県立中央病院に勤務。4千人以上の肺がん患者と向き合った。早期発見・治療の重要性を痛感し、定年前に同協会へ。検診の推進と同時に、異常が見つかった人を速やかに次の診断につなげる環境づくりにも力を入れる。

県よほう医学協会（同市北飯岡4丁目）の武内健一専務理事兼呼吸器内科部長を講師に迎え、同協会が開い

「医療には限界があるが、自分で守れる命、検診で救える命もある」と話し、自分の体と積極的に向き合っ



県よほう医学協会の武内健一呼吸器内科部長の講義に耳を傾げる川上塗装工業の社員ら